

2013年度 事業計画書

1. 図書館業務

(1) 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入

(2) 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理
- ② 図書・特別資料・雑誌副本の遡及入力

(3) 閲覧等サービス

① 閲覧

駒場本館 休館日＝日曜、月曜、第4木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

- ・本館閲覧室に視聴覚資料の閲覧コーナーを開設、「声のライブラリー」録画資料をはじめ、順次資料公開を進める（石橋財団補助事業）

2. 展覧会

(1) 館内展示

① 春季展示 4月6日（土）～6月8日（土）

企画展「花々の詩歌」展（監修：中村稔）

あわせて川端康成記念室を開室、パリ日本文化会館での展示に先行して、試行展示“川端康成の鎌倉―「千羽鶴」「山の音」を中心に”“作家の空間”を行う。

② 秋季展示 9月28日（土）～11月23日（土）

「新収蔵資料展」（仮題。編集：池内輝雄）

あわせて川端康成記念室を開室、試行展示“浅草、モダニズム―「浅草紅団」「狂った一頁」「水晶幻想」を中心に”“作家の空間”を行う。

- *「凜として立つ―佐多稲子の生と文学 没後15年」展 8月20日（火）～9月21日（土）
（主催：佐多稲子研究会・ふえみん婦人民主クラブ）に協力する。

その他の期間はレプリカ、複製版、写真などによる通常展

(2) 企画展示の貸出し

- ・新潮社記念文学館「樋口一葉 その文学と生涯」展（会期 2013年4月20日～5月26日）
- ・土屋文明記念文学館「芥川龍之介展」（会期未定 2013年10月～12月）

3. 講座・講演会

(1) 第50回夏の文学教室 テーマ「時代にみる文学」（仮題）（読売新聞社後援）

7月29日（月）～8月3日（土）、有楽町・よみうりホール

- ・第50回記念の冊子と小展示（歴代講師の色紙）を行う（別紙参照）。

(2) 声のライブラリー

5月11日、9月7日、11月9日、2014年2月8日の各土曜日 午後2～4時、館ホール

- ・会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる（石橋財団補助事業）
- ・今年度から朗読者2人・司会者1人とし、参加料を2,000円（会員1800円）とする。

- (3) 資料は語る 資料で読む「東京文学誌」 <「開催要項」別掲>
前期：3回=4月・5月第3土曜日、6月第4土曜日／後期：3回=9～11月、各第3土曜日、館ホール
- (4) 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理
8月27日（火）～31日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、計20コマ30時間、2単位） <プログラム 別掲>
- (5) 文学館へ行こう！
主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回30名程度。
春：4月6日（土）、27日（土）、講師：中島国彦
秋：日時・講師未定

4. 刊行物

- 『花々の詩歌』当館編・青土社から2013年4月刊行
- 「日本近代文学館年誌—資料探索」第9号 2014年3月刊行
- 『近代文学草稿原稿研究事典』（7. 創立50周年・開館45周年記念事業の項参照）

5. 全国文学館協議会

総会の開催（6月の第3週の予定、日時未定）、部会活動、会報の発行など

6. 広報

館報「日本近代文学館」の続刊

7. 創立50周年・開館45周年記念事業

- (1) 館ホームページの刷新（2013年4月実施）
- (2) 『近代文学草稿原稿研究事典』の刊行準備（2014年3月刊行予定）
- (3) 「川端康成展」（パリ日本文化会館）、記念講演会、映画上映週間、国際シンポジウムの準備（2014年9月開催予定）
- (4) 『日本近代文学大事典』の増補改訂

2013. 3. 9

2013年度 講座「資料は語る」開催要項

- 1 講座名 : 「資料は語る」
- 2 本年度タイトル : 資料で読む「東京文学誌」
- 3 開講回数 : 前期3回・後期3回 計6回
- 4 日 程 : 前期 4月20日(土)・5月18日(土)・6月22日(土)
後期 9月21日(土)・10月19日(土)・11月16日(土)
- 5 開講時間 : 各回とも午後2時から午後3時半(質疑応答含む)
- 6 定 員 : 40名
- 7 会 場 : 日本近代文学館講堂(目黒区駒場4-3-55 駒場公園内)
- 8 受講料 : 全期間(6回)10000円/前期または後期5000円/1回のみ2000円
※会員はそれぞれ一割引

9 内 容 :

本講座「資料は語る」は、日本近代文学館蔵の原稿・書簡・図書・雑誌・写真などの貴重資料の存在を、より多くの方に知っていただきたいという考えから、前身の講座「文学者を肉筆で読む」をリニューアルし2009年度より開講しているものです。

2013年は、1943年に東京都が設置されてから70年という節目の年でもあり、本年度の「資料は語る」では、東京という土地と文学の関わりに焦点を当て、東京で暮らした文学者や、東京を舞台にした作品を取り上げます。とりわけ盛り場や鉄道、新開地や郊外など、近代化・都市化する東京を象徴する場所を各回のテーマとし、成長する街・東京の「文学誌」を紹介いたします。

前期・後期各3回で、それぞれ本テーマに造詣や関心の深い文学者・研究者の先生をお招きします。会場には各回の内容に関連する資料を展示し、講師の先生方にはこれらの資料を用いながらお話をさせていただきます。

10 : プログラム

- 1 青春の諸相—根津・下谷 森鷗外と高村光太郎 小林幸夫
- 2 電車が作る物語—田山花袋と夏目漱石 石原千秋
- 3 女性たちの東京—永井荷風と泉鏡花 持田叙子
- 4 モダンな盛り場—浅草 川端康成・堀辰雄など 宮内淳子
- 5 震災と復興—銀座 水上瀧太郎・久保田万太郎・里見淳など 武藤康史
- 6 太宰治—中央線時代の文学と恋。甲府の石原美知子〜お茶の水の山崎富栄 松本侑子

資料の声を聞く 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

講師代表 十川信介 8月27日(火)～31日(土) 午前10時～午後5時10分(1日4コマ、計コマ30時間、2単位)、館ホール

第1日 総論

オリエンテーション

近代文学館とは

日本近代文学館の所蔵資料とその意義

坂上 弘

池内輝雄

資料の収集・活用

資料を活用する研究法(講義・演習)(1) 図書

東郷克美

資料を活用する研究法(講義・演習)(2) 雑誌

紅野謙介

第2日

資料を活用する研究法(講義・演習)(3) 新聞

日高昭二

図書の利用(実習)

雑誌の利用(実習)

挿絵・写真資料の調査・保存(実習)

第3日

資料を活用する研究法(講義・演習)(4) 肉筆資料

宗像和重

肉筆資料の解読(実習)

同時代資料の解読

世相を考える資料(講義・演習)

金子明雄

編集・出版・検閲(講義・演習)

十重田裕一

第4日 文学の周辺

文学と映画(講義・演習)

安藤 宏

文学をめぐる問題

東アジアと日本文学(講義・演習)

土屋 忍

資料の保存・展観

資料の保存・修理(実習)

展観目録の作成(実習)

第5日 文学の周辺

文学と美術・音楽(講義)

中島国彦

文学をめぐる問題

草稿・注釈をめぐる問題(講義)

十川信介

総括

近代文学館に対する要望(質疑応答)

十川信介・中島国彦・池内輝雄

反省会